

1. 件名：特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合に係る面談

2. 日時：令和5年5月19日（金）15:30～18:00

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、大辻室長補佐、石井係長、高橋係員
長官官房

技術基盤グループ 放射線・廃棄物研究部門

青木主任技術研究調査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 3名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 8名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回の特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）の議題に関連して以下のとおり説明を受けた。
 - ✓ 1号機RCWの水素滞留事象等を踏まえた対応状況
 - ✓ PCV閉じ込め機能の維持に係る検討状況
 - ✓ 1号機PCV内ペDESTALの状況を踏まえた対応
 - ✓ 水処理廃棄物、建屋解体物等の固形状の放射性物質に関する検討状況
- 原子力規制庁は、上記の内容を確認するとともに、東京電力に対し、次回の技術会合に向けて資料の拡充を求めるとともに、1号機PCV内ペDESTALへの対応については、原子力規制委員会での議論を踏まえて、別途指示する予定であることを伝えた。
- また原子力規制庁から、ALPSによる処理前後の液相の放射能濃度測定データ（ALPS（炭酸塩共沈プロセス）の処理前後濃度等）の提供を求めた。
- 東京電力から、原子力規制庁からのコメントについて検討の上、技術会合に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 水素滞留事象の影響評価について
- 「PCVの閉じ込め機能の維持に関する論点」に係る説明概要について
- PCVの閉じ込め機能強化に関する検討状況について（PCV内の水素爆発）
- インナースカート及びペネトレーション部応力評価（1号機ペDESTAL）